

2017年10月30日

株式会社 富士キメラ総研
 〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町
 1番5号 PMO 日本橋江戸通
 TEL.03-3664-5839 FAX.03-3661-1414
<https://www.fcr.co.jp/>

広報部 03-3664-5697
<http://www.group.fuji-keizai.co.jp/>

通信機器・通信サービスの国内市場を調査

2021年度市場予測

ビジネスチャットサービス

社内メールの代替によるコミュニケーション活性化を目的に市場は拡大 130億円

通信サービス市場におけるIoT向け需要

携帯電話サービス、MVNOサービスの需要が増加 1,430億円

マーケティング&コンサルテーションの株式会社富士キメラ総研（東京都中央区日本橋小伝馬町 社長 田中 一志 03-3664-5839）は、IoTやIoT向けに適した新たな通信技術であるLPWA（Low Power Wide Area）、移動体キャリアによる5G回線などの登場により多様化する国内の通信機器・通信サービス市場を調査した。

その結果を「**2017 コミュニケーション関連マーケティング調査総覧**」にまとめた。

通信機器市場としてネットワーク関連製品13品目、音声関連製品7品目、会議関連製品3品目、移動体通信端末3品目、移動体通信基地局3品目、通信サービス市場としてインターネット接続サービス4品目、移動体通信サービス4品目、固定データ通信サービス4品目、音声関連サービス6品目、その他サービス7品目の動向を分析し、将来を予想した。

<注目市場>

ビジネスチャットサービス

2017年度見込	2021年度予測	2016年度比
60億円	130億円	3.5倍

企業内においてメールよりも少ない文字数で気軽にテキストベースのコミュニケーションが取れるサービスを対象とした。

2010年代に入り、個人向けの携帯電話サービスにおいてスマートフォンが普及するなかで、メールよりも手軽にコミュニケーションが取れることなどからチャットサービスが急速に拡大してきた。法人向けにおいても私用のスマートフォンと個人向けのチャットサービスを業務利用するケースがみられたが、私用のスマートフォンで業務情報を取り扱うことはセキュリティ面および管理面での問題が懸念されていた。このような背景から個人向けチャットサービスのコミュニケーションの手軽さをそのままに、暗号化、ログといったセキュリティ面、ユーザー権限の様な管理面を向上させたビジネスチャットサービスが登場した。主に社内メールの代替としてコミュニケーション活性化を目的に、需要は増加していくとみられる。

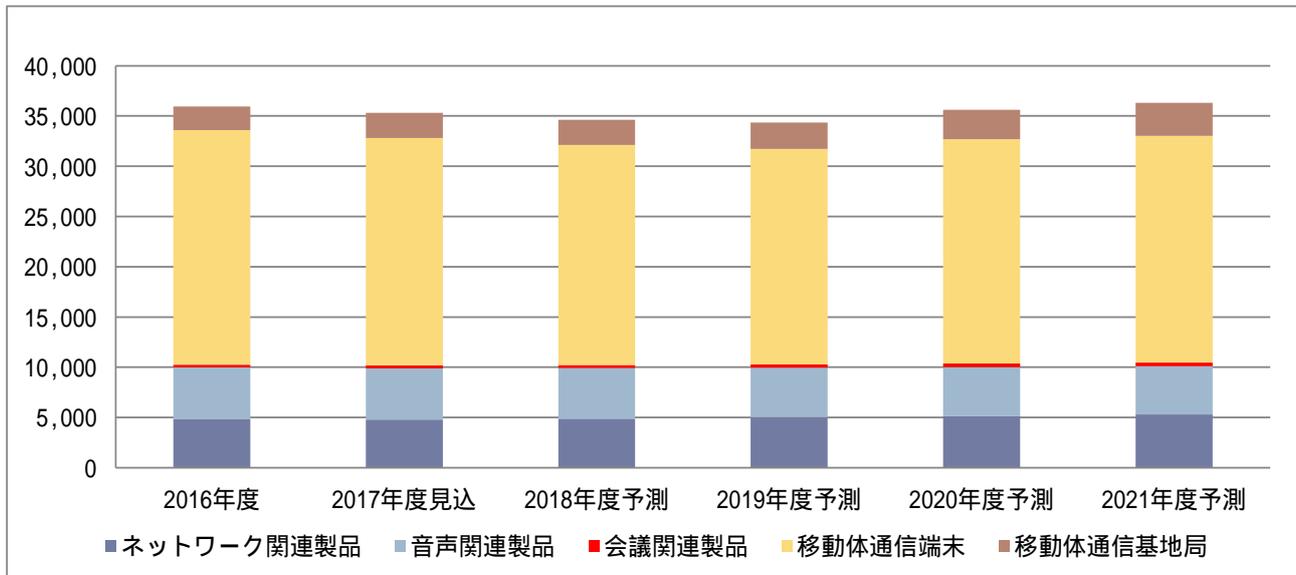
LPWAサービス

2017年度見込	2021年度予測	2016年度比
僅少	140億円	-

LPWAは低消費電力で広いエリアをカバーできる無線ネットワークであり、移動体キャリアが提供している携帯電話サービスなどに比べ、低コスト、低消費電力、広域通信の面で優れている。LPWAサービスは機器に組み込まれたセンサーから小さいデータを収集するIoT向けに適したサービスとして、需要が増加している。2017年度はトライアル需要が中心で、本格的な立ち上がりは商用サービスの提供が増える2018年度になるとみられ、今後拡大していくと予想される。

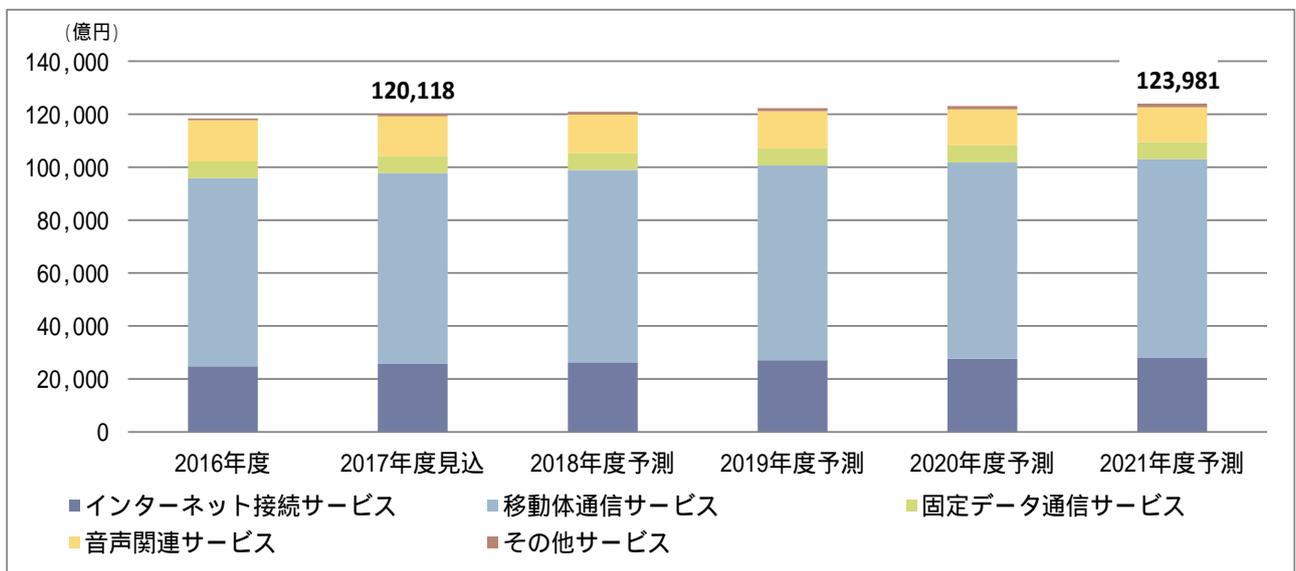
< 調査結果の概要 >

通信機器の国内市場



会議関連製品はワークスタイルの変革による会議業務の効率化から、マルチデバイス対応、テレワークやリモートワークなどの需要の増加で伸びるものの、市場の大半を占める移動体通信端末は、スマートフォンへの移行が一巡したことや、端末の高性能化による買い替えサイクルが長期化していることなどにより縮小し、微減で推移するとみられる。2018年度頃より固定キャリアのネットワーク更改、移動キャリアの5G導入によりL2/L3スイッチ、ルーター、携帯電話基地局の需要が増加するとみられ、また2020年度には5G導入にあわせて再びスマートフォン需要が増加することから、2020年度以降、市場は拡大に転じるとみられる。

通信サービスの国内市場



音声関連サービスが加入電話サービス、直収電話サービスなどの非IP系電話サービスからIP電話サービスへ移行していることや、SNS、チャットといったコミュニケーション手段の多様化により、ARPUが減少していることなどから縮小するものの、インターネット接続サービスや移動体通信サービスの市場が拡大し、全体では微増で推移するとみられる。今後はアクセス回線に光ファイバーを利用したFTTHサービスがADSLサービスからの移行や、携帯電話サービスとのセット販売による新規需要獲得により、拡大するとみられる。携帯電話サービスは法人向けにおいて固定電話サービスからの移行や、中小規模企業における新規需要が増加し、さらに拡大していくとみられる。

【通信サービス市場におけるIoT向け需要】

2017年度見込	2021年度予測	2016年度比
732億円	1,430億円	2.2倍

FTTHサービス、ISPサービス、携帯電話サービス、PHSサービス、WiMAXサービス、MVNOサービス、インターネットVPNサービス、加入電話サービス、LPWAサービスのIoT向けの需要を対象とした。

通信サービス市場におけるIoT向け需要は携帯電話サービス、MVNOサービスが市場をけん引している。携帯電話サービスは建設機械や監視カメラなどの状態監視用途が中心であるが、通信モジュールが幅広い機器に組み込まれ、用途開拓が進んでいる。特に車載機器用途では業務・一般車両向けに需要が増加するとみられる。MVNOサービスは監視カメラ、バスやトラックといった業務用車両の運行管理や太陽光発電システムなどエネルギー関連機器の状態監視に利用されている。2018年度頃から各種機器に組み込まれたセンサーからデータを収集する目的でLPWAサービスの立ち上がりが想定され、市場は順調に拡大していくとみられる。

<調査対象>

通信機器市場			
ネットワーク関連製品	光伝送装置 PON システム メディアコンバーター CATV 関連機器	L2/L3 スイッチ 無線 LAN コントローラー 無線 LAN 機器 ルーター	L4-7 スイッチ 帯域制御装置 RADIUS サーバー DNS/DHCP/IPAM サーバー CATV-STB
音声関連製品	ソフトスイッチ SBC	呼制御装置 固定電話端末	構内 PHS システム ソフトフォン MFP/FAX
会議関連製品	ビデオ会議システム	Web 会議システム	音声会議関連機器
移動体通信端末	ハンドセット	タブレット端末	Wi-Fi モバイルルーター
移動体通信基地局	携帯電話基地局	PHS 基地局	WiMAX 基地局
通信サービス市場			
インターネット 接続サービス	ADSL サービス	FTTH サービス	ISP サービス CATV インターネットサービス
移動体通信サービス	携帯電話サービス	PHS サービス	WiMAX サービス MVNO サービス
固定データ通信サービス	IP-VPN サービス	広域インターネットサービス	インターネット VPN サービス 専用線サービス
音声関連サービス	加入電話サービス 直収電話サービス	050-IP 電話サービス 0AB~J-IP 電話サービス	クラウド PBX サービス FMC サービス
その他サービス	ビデオ会議サービス Web 会議サービス	音声会議サービス ビジネスチャットサービス	MVNE サービス クラウド型無線 LAN サービス LPWA サービス

<調査方法> 富士キメラ総研専門調査員によるヒアリング及び関連文献、データベース活用による調査・分析

<調査期間> 2017年4月～8月

以上

資料タイトル	： 「2017 コミュニケーション関連マーケティング調査総覧」		
体 裁	： A4判 364頁		
価 格	： 150,000円+税 PDFセット 170,000円+税 集計ファイルセット 190,000円+税 ネットワークパッケージ版 300,000円+税		
発 行 所	： 株式会社 富士キメラ総研 〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町1番5号 PMO日本橋江戸通 TEL：03-3664-5839(代) FAX：03-3661-1414 URL： https://www.fcr.co.jp/ e-mail： info@fcr.co.jp		
調 査 ・ 編 集	： 研究開発本部 第二部門 TEL：03-3664-5839 FAX：03-3661-1414		
この情報はホームページでもご覧いただけます。 URL： http://www.group.fuji-keizai.co.jp/			